

成した校舎の見本図面から、よく分かります。1階部分に「筆道場」(教室)、2階部分に「講堂」などが描かれています。今の小学校には見られない部屋がいくつかあります。戦後にできた小学校に「町役溜」。出生届や死亡届の受け付けなど役所の役割を果たしていた「出勤場」。中でも、各1階に造られているのが「出動場」。中でも、各1階に造られているのが「出動場」。中でも、各1階に造られているのが「出動場」。

1869(明治2)年5月から半年の間に開校した64の番組小学校は、単なる教育施設ではなく、各番組のコミュニティセンターとしての役割を担った複合施設でした。

このことは、番組小が誕生する前に京都府が町衆からの意見を集めて作

府の役人が来て、新しく制定された規則の説明を地域に開かれ、当初は大人が主に利用していた場所だったというこ

たというこ

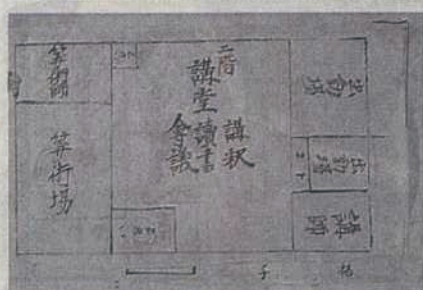
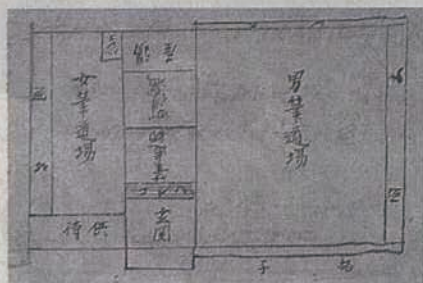
教育や役所担う複合施設

明治時代の講堂は地域住民が会議を開いたり、

Hintは、体育館は子どもが運動をする場所な

Hintは、体育館は子どもが運動をする場所な

Hintは、体育館は子どもが運動をする場所な



小学校設立様式の布達(1868年) 京都市学校歴史博物館提供



元開智小の講堂で学ぶ小学生たち (京都市下京区・市学校歴史博物館)

今ご紹介した小学校設立様式の布達は、学校歴史博物館(下京区)で拡大版レプリカが見られます。

